

小中学校における静岡茶の食育と 愛飲の促進について

(令和4年度 県民会議資料)



○報告事項

- 1 静岡茶の愛飲の取組状況
- 2 令和4年度の取組報告(令和5年度の計画含む)

○協議事項

- (1) 通年での愛飲の取組の拡大について
- (2) 静岡茶の食育機会の確保の取組について
- (3) 新たな認定制度について

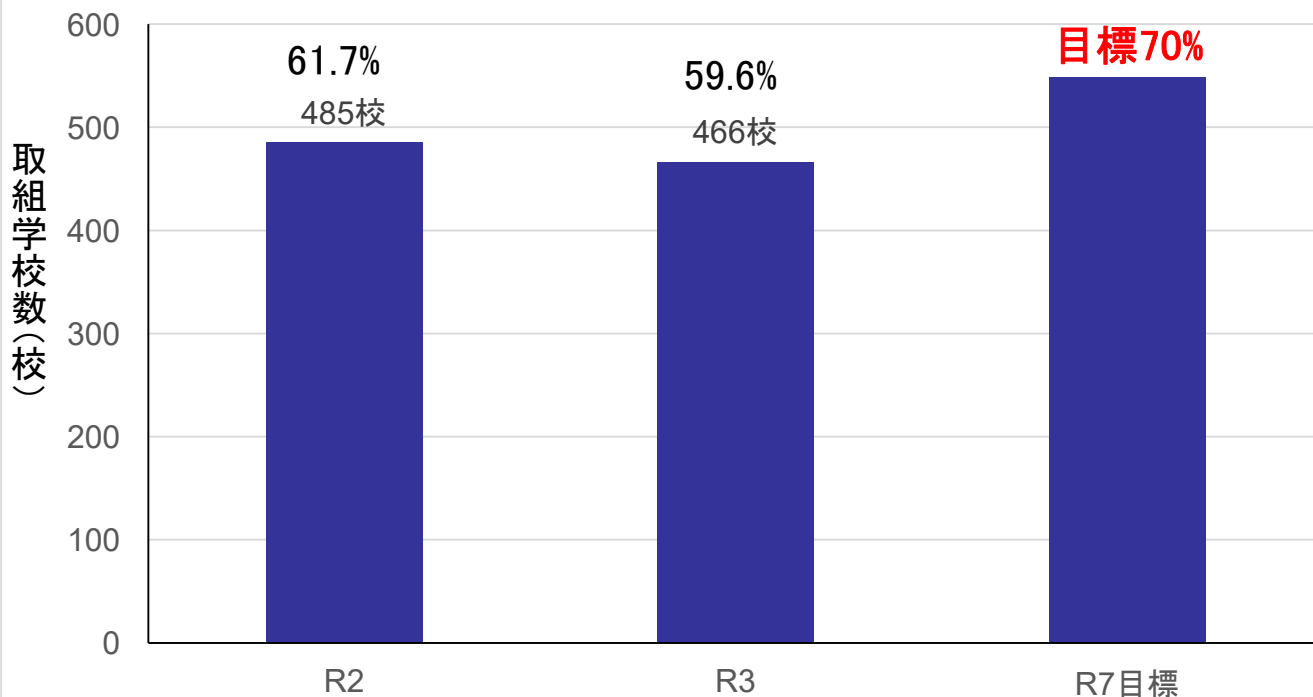
1-① 静岡茶の愛飲の取組状況

・ **通年**での愛飲の取組状況【総合計画（R4～R7年度）】

家庭から水筒を持参する取組を啓発し、通年での愛飲を推進

R3の取組内訳：水筒459、紙パック138、やかん132、給茶機52、スティック茶14

通年で静岡茶愛飲に取り組んでいる小中学校の割合



(県教育委員会調べ)

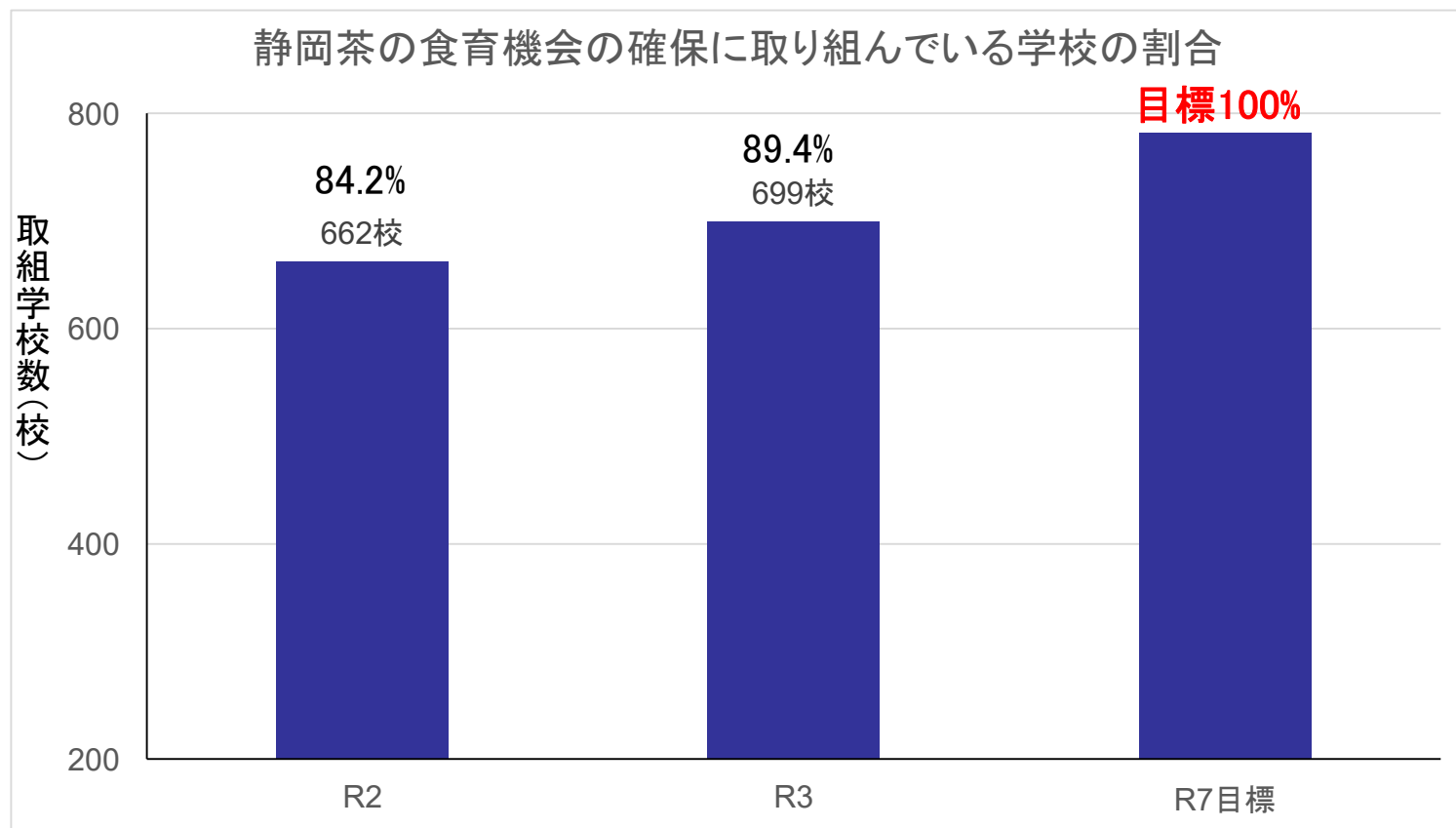
(参考)R3年度までの活動指標(総合計画)

- ・ **年間概ね5日間程度**飲んでいる学校の割合
目標100%に対し99.7%(780校/782校)

1-② 静岡茶の愛飲の取組状況

- ・ お茶に関する食育の機会の確保【教育振興基本計画（R4～R7年度）】

継続実施できる静岡茶の食育の体制づくりを推進
教科等における体験活動や調べ学習、給食時間における指導等



(県教育委員会調べ)

2 令和4年度の取組報告

① 児童生徒及び保護者向け静岡茶講座の実施

- ・茶産地以外の地域を中心に実施
- ・農林水産省委託事業を活用し、「つながる茶育推進事業」として、児童生徒及び**保護者向け**静岡茶講座を実施

| 区 分 | | 内 容 |
|-----|-------|---|
| 期 間 | | 令和4年9月27日から令和5年1月27日まで |
| 対 象 | | 東部・伊豆地区小中学校及び特別支援学校の児童生徒及び 保護者 ※開催を希望する学校にて実施(29校) |
| 講 座 | 講 師 | JAふじ伊豆職員 |
| | 人 数 等 | 1講座8～35人程度、1コマ45～50分 |
| | 講義内容 | ・静岡茶の概要(お茶の種類等) ・お茶を美味しくいれるポイント ・デモンストレーション、実習 |
| | 受講人数 | 1,918人(保護者含む) |

2 令和4年度の取組報告

② 栄養教諭等食育担当者研修会の実施

- ・農林水産省委託事業を活用し、「つなげる茶育推進事業」として、栄養教諭等食育担当者研修会を実施

| 区 分 | | 内 容 |
|-----|-------|---|
| 期 間 | | 令和4年11月11日から11月30日まで |
| 対 象 | | 栄養教諭等各学校食育担当者等(希望) |
| 講座 | 講 師 | ・日本茶インストラクター ・日本茶アドバイザー資格を取得した栄養教諭等 |
| | 参 加 者 | 80人 |
| | 講義内容 | お茶に関する基礎知識、お茶の美味しいいれ方模擬授業等 |
| | 場 所 | 県内4会場、オンライン1会場 |
| その他 | | ・静岡茶食育デジタル教材を作成し、県内小中学校、特別支援学校に提供(各学校でダウンロード) |

2 令和4年度の取組報告

③ 静岡茶に関する食育の実践①

・農林水産省委託事業を活用し、「ひろがる茶育推進モデル事業」として、静岡茶食育カリキュラム事例集を作成するため、モデル校において静岡茶に関する食育を実践(R4～R5年度の2か年で実施)

| 年 度 | モデル校 | 県教委 |
|------|--|---|
| R4年度 | <ul style="list-style-type: none">・全体計画の検討(R5実践に向けて)・指導案、教材、資料等の検討・給食メニュー、おたより等の検討、作成・課題、要望等の意見集約 | <ul style="list-style-type: none">・指導事例の収集・教材用資料等の収集・お茶を使ったレシピ、家庭への啓発資料等の収集 |
| R5年度 | <ul style="list-style-type: none">・全体計画に沿った実践・学校給食の提供・おたより等による家庭への啓発 | <ul style="list-style-type: none">・講師等派遣に係る調整・指導事例の収集・動画資料等の作成 |



2 令和4年度の取組報告

④ 静岡茶の愛飲に関する取組事例集の作成・配布

日本茶アドバイザー資格取得者58人(R4.4現在)

日本茶アドバイザー資格取得講座の受講者による実践事例集の作成・配布

【取組事例集Contents】

| | 内 容 |
|---|-------------------|
| 1 | 教科等、給食の時間における取組事例 |
| 2 | お茶を使った学校給食レシピ |
| 3 | 静岡茶食育教材・参考資料 |
| 4 | 日本茶アドバイザー資格取得者一覧 |

各学校での活用を促進



2 令和4年度の取組報告

⑤ 小中学校へ静岡茶食育デジタル教材の配布

- ・茶産地、製造、いれ方の動画を制作し、小中学生がタブレットを利用して学習
- ・機能性や歴史、いれ方等を分かりやすく解説するイラスト素材を作成・配布



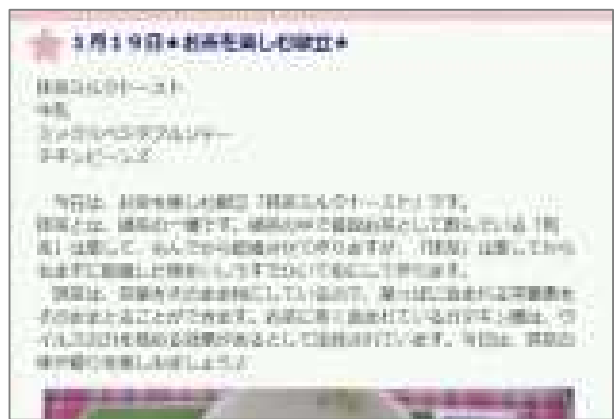
2 令和4年度の取組報告

⑥ 学校における静岡茶の食育の取組①

裾野市立深良小学校 対象者:全校児童、保護者

- ・年間を通して、お茶を楽しむ献立を取り入れお茶に関心をもてるようにした。
- ・対象献立の提供日には、昼の放送で紹介したり学校の給食ブログに掲載したりし、お茶を身近に感じられるようにした。

[活動名]お茶を楽しむ献立



学校の給食ブログに掲載

- <その他のメニュー>
- 黒はんぺんのお茶揚げ
 - ホキの米粉お茶フライ
 - お茶ポテト
 - 抹茶レアチーズ
 - 抹茶ミルクトースト

【児童の感想】

- ・飲むだけでなく、身近な給食にもお茶が登場しておどろいた。
- ・苦みを感じないような献立で美味しかった。

2 令和4年度の取組報告

⑥ 学校における静岡茶の食育の取組②

焼津市立和田小学校 対象者:2年生

- ・静岡県がお茶の産地であることを確認するクイズを行った後、効能について学んだ。
- ・静岡茶を利用し、70℃の湯で入れたものと80℃の湯で淹れたものをそれぞれ試飲して、湯の温度によるお茶の味の違いを体験した。

[活動名]静岡茶をいれてみんなにここにこ



【児童の感想】

〈授業でお茶をいれてみた感想〉

- ・難しかったけれどがんばりました。どこが難しいかというと、まわし注ぎのところです。

〈家の人にお茶をいれてあげた感想〉

- ・お母さんが喜んでくれたのでよかったです。

〈家の人からの感想〉

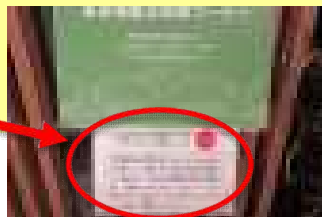
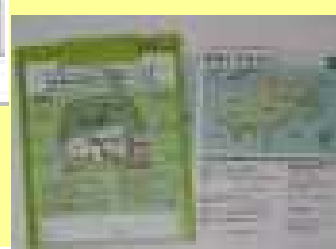
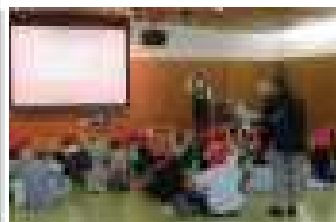
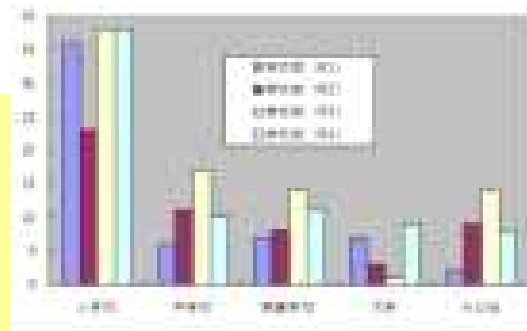
- ・茶葉を入れるところから全て一人でやってくれました。またお茶をいれてほしいです。

2 令和4年度の取組報告

⑦ ふじのくに茶の都ミュージアムにおける活動①

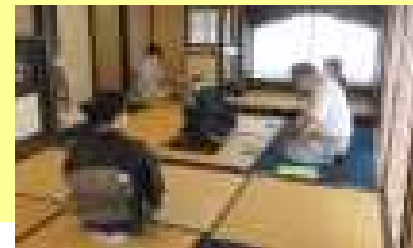
小中学校の施設見学の受入

- ・施設見学や体験学習を積極的に受け入れており、76校 2,349人が来館(2月末時点)
- ・学校向けのプログラム(①全体説明②展示説明③子ども向けワークシート)の実施
- ・子ども向け解説パネルを追加設置



教員のための博物館の日

- ・教員が茶の都ミュージアムに来館し、学習資源として校外学習等での活用を推進するため、国立科学博物館が主導で全国展開
- ・茶の都ミュージアムでは学芸員による展示解説、茶摘み、茶道、お茶のいれ方、茶ミューキットなどを実際に体験した。
- ・来年度は教育委員会健康体育課と共催し、広く参加を呼びかける。



- ・茶の都ミュージアムで、実際に見て体験することができ、茶を学ぶ機会が充実
- ・まずは教員に茶の都ミュージアムを体験する機会を設けることで利用を促進

2 令和4年度の取組報告

⑦ ふじのくに茶の都ミュージアムにおける活動②

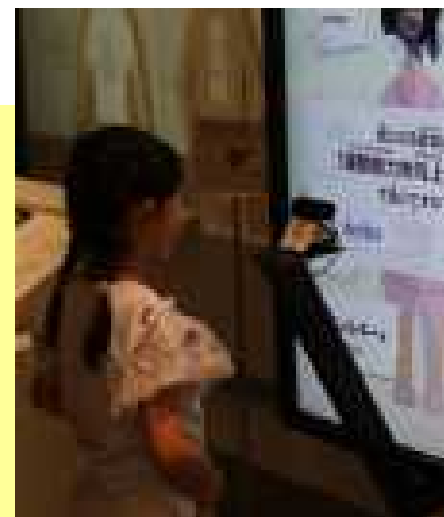
学校への茶ミュージックの貸し出し

- ・来館が難しい遠方の学校やお茶の学習を行う学校等を対象に、お茶の学習教材の貸し出しを実施(無料)
- ・実際に茶葉を見たり香りを確かめながら学習が可能
昨年度健康体育課が製作した映像教材等を追加
- ・令和4年貸出実績は11件、3年度は27件(コロナ禍で増加)



リモート授業の実施(R5新規)

- ・県内全域への出前授業は難しいため、ウェブ会議Zoomを使い、学校にオンラインでお茶の授業を行う。(無料)
- ・総合的な学習の時間や茶の都ミュージアム来館前の予習等に活用
- ・テーマは、①静岡茶の発展の歴史や茶産地紹介、
②お茶の製造工程、③日本・世界のお茶の種類や喫茶文化
などを想定



- ・「茶ミュージック」の貸し出しで、来館が難しい学校でも活用可能なコンテンツが充実
- ・リモート授業の取組で、県内全域の学校へのアウトリーチが可能

2 令和4年度の取組報告

⑧ 国事業を活用した県内小中学校等へのお茶の提供

・静岡茶と併せて、おいしいお茶のいれ方と効能を紹介するリーフレットを配布

| 項目 | 内容 |
|-------|-----------------------------|
| 配布学校数 | 県内小中学校、特別支援学校等 761校 |
| 配布者 | 県経済連、JA等茶販売事業者 15者 |
| 事業名 | 国産農林水産物等販路新規開拓緊急対策事業(国直轄事業) |



2 令和4年度の取組報告

⑨ 小中学生向け茶競技会「Cha-1グランプリ」の開催①

【前回からの主な変更点】

- ・世界お茶まつり2022に合わせて、対象を**県内から全国**の小中学生に**拡大**
- ・多くの方が参加出来るよう**予選会を実施**(募集人数**30人⇒100人**)

【開催内容】

| 区 分 | 内 容 |
|-------|---|
| 対 象 者 | 日本国内在住の小中学生 |
| 募集期間 | 令和4年8月17日～9月20日 |
| 申 込 者 | 80人(9府県) ・静岡県内59人、静岡県外21人 ・小学生63人、中学生17人 |
| 予 選 | 実施日:10月1日(土) 実施方法:オンライン 競技種目:お茶クイズ 全30問 |
| 本 戦 | 実施日:10月22日(土) 出場者:予選の上位8人 場 所:グランシップ11階会議ホール・風 競技種目:お茶クイズ、外観による茶種当て、闘茶 |



募集チラシ

2 令和4年度の取組報告

⑨ 小中学生向け茶競技会「Cha-1グランプリ」の開催②

| 順位 | 受賞者 |
|-----|-----------------|
| 優勝 | 陸田 紗希さん(中3:掛川市) |
| 準優勝 | 青木 彩実さん(中3:掛川市) |
| 3位 | 山下 諒大さん(小3:掛川市) |

【参加者の感想】

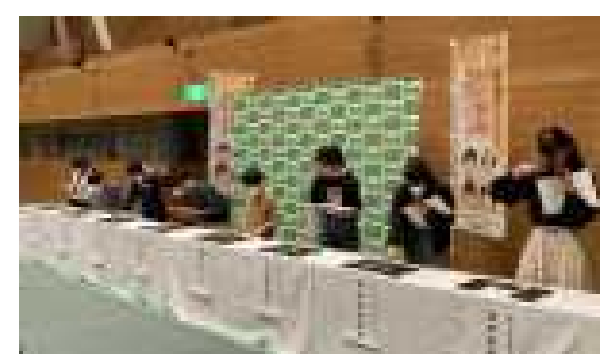
- ・難しかったけどクイズは楽しかった
- ・お茶を楽しみながら勉強した成果を発揮できた
- ・今後は日本茶インストラクターの資格を取得したい
- ・来年も参加したい 等



予選:オンライン



本戦:お茶クイズ



本戦:茶種当て



表彰式



静岡新聞掲載



SBSテレビ放送

(1) 通年での愛飲の取組の拡大について

課題

- ・静岡茶の継続的な愛飲の促進
(国や県に頼らない取組強化)
- ・教員や保護者の愛飲への理解
促進(学校、家庭、茶業関係者
の連携)
- ・お茶の機能性等についての分
かりやすい情報発信の強化

今後の取組(事務局案)

- ・水筒での静岡茶の持参を働きかける
「マイボトル持参運動」の拡大
- ・ふじのくに茶の都ミュージアムによるリ
モート授業の実施(試行)
- ・茶業関係者の協力のもと、静岡茶講座
等の充実
- ・**効能別の短編動画の制作**
- ・おたより用イラスト素材の有効活用

(2) 静岡茶の食育機会の確保の取組について

課 題

- ・子どもたちがお茶に興味を持ち続ける仕組みや意欲向上のための方策
- ・教員や保護者の食育への理解促進
- ・茶業関係者と学校の連携強化
- ・県内全域での静岡茶の食育の支援体制づくり

今後の取組(事務局案)

- ・「ふじのくにジュニアお茶マイスター(仮称)」認定制度の創設
- ・「教員のための博物館の日」への参加促進のため、教育委員会との共催により実施
- ・茶業関係者×農林水産省「茶育」プロジェクトを活用したマッチング支援(出前講座、茶摘み体験、茶工場見学等)
- ・食に関する指導の全体計画(静岡茶関係)に沿ったモデル校での実践及び各学校での活用促進

(3) 新たな認定制度「(仮称)ふじのくにジュニアお茶マイスター」

概要

- ・お茶に興味を持った児童生徒のステップアップにつながる仕組みの創設
- ・将来、静岡茶のPRや魅力を伝える「静岡茶伝道師」の役割を期待

| 項目 | 事務局案 |
|-----------|---|
| 対象 | 静岡県内の小・中学生 |
| 認定条件 | ・Cha-1グランプリに出場すること ・レポートを提出すること(Cha-1グランプリ参加申込書と兼用) |
| 認定後の活動 | ・県や関係団体が主催するイベントでの呈茶サービス等 ・お茶関連セミナーへの参加 ・お茶関連イベント等の情報提供 |
| 今後のスケジュール | ・新たな認定制度の創設について県民会議で承認(3/13) ・認定要領及び運用マニュアルの制定(R5年5月) ・認定要領の決裁・承認(R5年6月、書面決議) ・R5年度Cha-1グランプリから実施(R5年7月募集開始) |

〔将来的な検討(事務局案)〕

- 対象者の拡大(全国、高校生)
- 市町等が実施するT-1グランプリや日本茶検定等の認定、養成講座の実施